

平成12年度 班会議

プ ロ グ ラ ム

---

厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業  
筋萎縮性側索硬化症の病態の解明と治療に関する研究班

---

## 平成12年度 班会議プログラム

日 時 平成13年1月26日（金）  
午前 10時 ～ 午後 4時35分

会 場 全共連ビル 別館1階 コンベンションホール  
東京都千代田区平河町2-7-9  
電話 0120-8886-94

発 表 口演 10分 / 質疑 5分

\*スライドは発表の30分前までに提出して下さい

班 長 糸山 泰人  
事務局 東北大学大学院医学系研究科神経科学講座神経内科学分野  
☎980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1  
Tel (022) 717-7189 / Fax (022) 717-7192

10:00 挨拶 班長 糸山泰人

10:05 セッション1 座長 阿部康二

1. トランスジェニックラットを用いた新しいALSモデル

東北大学大学院医学系研究科神経学講座神経内科学分野

青木正志 ○永井真貴子

加藤昌昭 神位りえ子

糸山泰人

同附属動物実験施設

三好一郎 笠井憲雪

2. I113T変異SOD1トランスジェニックマウスの作製および解析

新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野

中野亮一 福島隆男

小宅睦郎 佐藤俊哉

田中恵子 辻 省次

国立療養所西新潟中央病院神経内科

○菊川公紀

国立療養所犀潟病院神経内科

小出隆司

岐阜大学医学部高齢医学講座

犬塚 貴

新潟大学脳研究所病態神経科学部門神経病理学分野

森 太郎 朴 月善

山田光則 高橋 均

3. 変異SOD1トランスジェニックマウスにおける運動ニューロン死

岡山大学医学部神経内科

阿部康二 ○割田 仁

村上哲郎 真邊泰宏

4. 家族性筋萎縮性側索硬化症の治療法の開発 —モデルマウスを用いた検討—

大阪大学大学院医学系研究科生体統合医学神経機能医学講座神経内科学

○佐古田三郎 長野清一

株式会社ツムラ

山本剛史 谷山光恵

藤井祐一

11:05 セッション2 座長 谷口直之

5. ALS及び免疫性神経疾患における髄液中nitrotyrosineの検討

国立精神・神経センター国府台病院神経内科

○吉野 英 浅野 敦子

6. 家族性筋萎縮性側索硬化症における変異 Cu, Zn-SODの糖化の亢進  
 大阪大学大学院医学系研究科生体制御医学生化学 谷口直之 ○高宮里奈  
 高橋素子 Theinge Myint  
 宮澤伸子 藤原範子  
 宮本泰豪  
 鈴木敬一郎  
 兵庫医科大学生化学
7. ALSにおけるglycationの関与  
 北海道大学医学部神経内科 菊地誠志 ○新保和賢  
 北陸大学薬学部 田代邦雄  
 竹内正義
8. フリーラジカルによるラット腰髄培養神経細胞死  
 岡山大学医学部神経内科 阿部康二 ○真邊泰宏  
 村上哲郎 割田 仁
9. ミトコンドリア活性酸素病態と細胞死の制御  
 大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学部門  
 倉敷成人病センター ○井上正康 吉良幸美  
 越智明海 井上啓子  
 佐藤英介  
 内海耕慥

12:20

——— 昼 食 ———

13:10 セッション3

座長 船越 洋

10. 神経栄養因子による運動ニューロン軸索輸送促進機序  
 北里大学医学部生理学 ○比留間弘美 川上 倫

11. 筋萎縮性側索硬化症の脊髄におけるHGF-cMet systemの発現について  
 鳥取大学医学部脳研病理 ○加藤信介 大浜栄作  
 大阪大学大学院医学系研究科バイオメディカル教育研究センター  
 腫瘍生化学研究部 船越 洋 宣 雄  
 中村敏一  
 Montefiore Medical Center 神経病理 平野朝雄  
 鳥取大学第二病理 加藤雅子  
 自治医科大学神経内科 中野今治
12. ALSモデルマウスの病態進行に対するHGFの効果  
 — ダブルトランスジェニックマウスの作成と解析 —  
 大阪大学大学院医学系研究科バイオメディカル教育研究センター  
 腫瘍生化学研究部 ○船越 洋 宣 雄  
 中村敏一
13. ポリオウイルスベクターによるマウス中枢神経系でのBDNF発現  
 東京大学大学院医学系研究科微生物学教室 野本明男  
 ○Jia Qingmei 大岡静衣
14. GDNF発現AAVベクターによるALS遺伝子治療  
 — マウスにおける基礎的実験 —  
 自治医科大学神経内科 王 立軍 Lu Yanyan  
 村松慎一 池口邦彦  
 藤本健一 ○中野今治  
 自治医科大学分子病態研究センター 水上浩明 小澤敬也

14 : 25

休 憩

14 : 35 セッション4

座長 三本 博

15. ALS研究の問題点を探って  
 Columbia Presbyterian Medical Center The Neurological institute  
 ○三本 博

16. 培養脊髄運動ニューロンにおけるホスホジエステラーゼ阻害剤の保護効果  
 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座・臨床神経学 下濱 俊  
 ○中溝 知樹
17. 融合型ESRI/MRI画像解析装置の試作と病態解析応用  
 九州大学大学院薬学研究院 ○内海英雄 市川和洋  
 佐野浩亮 山田健一
18. Galectin-1はALS脊髄の腫大軸索の構成成分である  
 山形大学第三内科 ○加藤丈夫 栗田啓司  
 キリンビール医薬探索研究所 和田 学  
 横浜市立大学第一生理 門屋利彦  
 Montefiore Medical Center 神経病理 堀江秀典  
 平野朝雄

15:35 セッション5

座長 野本明男

19. コリン作動性神経特異的にGluR2遺伝子を過剰発現するトランスジェニックマウスの作製  
 理研・脳センター・運動系神経変性 ○舘野美成子 杉本久子  
 高橋良輔  
 理研・脳センター・行動遺伝 田中三佳 糸原重美  
 都神経研・神経学 三澤日出巳
20. 筋萎縮性側索硬化症に疾患特異的mRNA 異常の単一脊髄運動ニューロンを用いた解析  
 東京大学医学部附属病院神経内科 郭 伸 ○河原行郎  
 孫 慧 橋田秀司  
 鄭 善容 金澤一郎  
 名古屋市立大学医学部医動物学 鈴木高史  
 旭川医科大学第一内科 相澤仁志

21. 筋萎縮性側索硬化症における運動ニューロン発現遺伝子プロファイル解析  
名古屋大学医学部神経内科学講座  
道勇 学 ○小林 靖  
吉原 剛 山本正彦  
渡辺英孝 安藤嘉朗  
梁えきとう 蔣 月梅  
祖父江 元

22. 孤発性ALSの発症に関する疾患感受性遺伝子の検討  
新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野  
中野亮一 ○福島隆男  
小林 央 辻 省次  
国立療養所西新潟中央病院神経内科 菊川公紀 斉藤正明  
信楽園病院神経内科 田中 一  
岐阜大学医学部高齢医学講座 犬塚 貴

16 : 35

— 終 了 —